

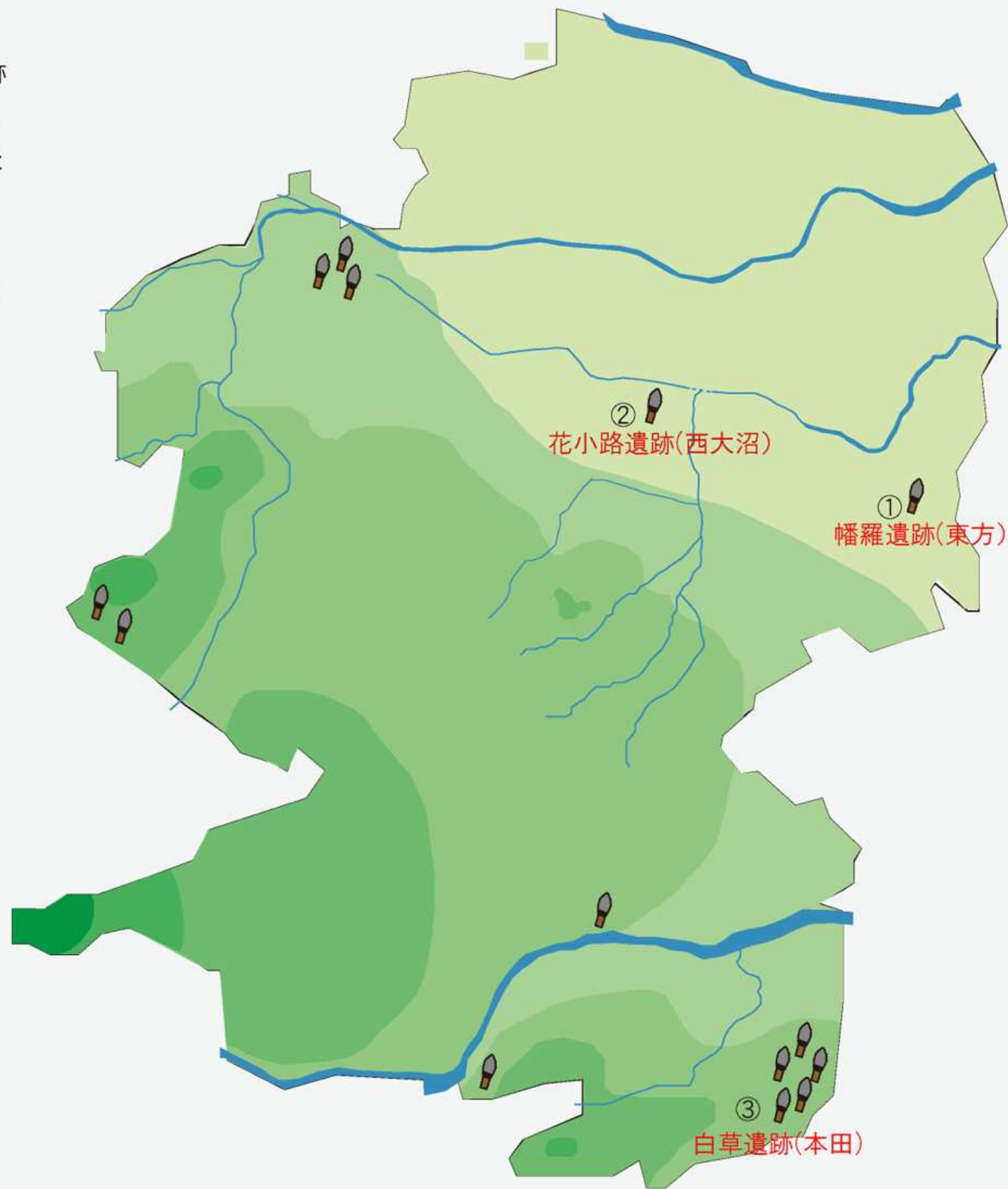
先史・旧石器時代の遺跡分布

わたしたちの祖先が残した最も古い足跡は、旧石器時代までさかのぼります。長く続いた氷河時代の終わりで、狩猟を中心とした生活をしてきたと推定されます。

深谷では6カ所の遺跡が発見されています。最も古いものは、幡羅遺跡(東方)①や花小路遺跡(西大沼)②で出土した、ナイフ型石器です。約2万年前のものと考えられます。



ナイフ型石器 (幡羅遺跡)



時代が進み、13,000年前の白草遺跡(本田)③では細石刃(さいせきじん)が大量に出土しています。

この頃になると、替刃ができる便利な細石刃が主流になりました。白草遺跡では、細石刃478点を含む4416点もの石器が出土しました。



細石刃 (白草遺跡)

提供 埼玉県立埋蔵文化財調査事業団

